

Windows Server 2012 環境での導入時の注意

Windows Server 2012（64bit 版 OS）の環境で 32bit 版ないし 64bit 版の E-Post Mail Server シリーズ・E-Post SMTP Server シリーズ・E-Post BossCheck Server を導入するときは、Administrator でのインストール時、サービス起動時の権限（または利用制限）についての十分な確認が必要です。

Windows Server 2012 では、Vista 以降と同様、Administrator アカウントでインストール・動作しているときでも、User Account Control (UAC) が有効となっているときは、Administrator アカウントでもサービス登録や操作ができませんので、UAC を無効化してから、インストールや、プログラムの操作、サービスプログラムの起動を行う必要があります。

また、Administrator ではない Administrator 権限の別名アカウントでインストールしたり、プログラムの操作やサービスプログラムの起動を行うときは、常に「管理者として実行」を選択して実行する必要があります。

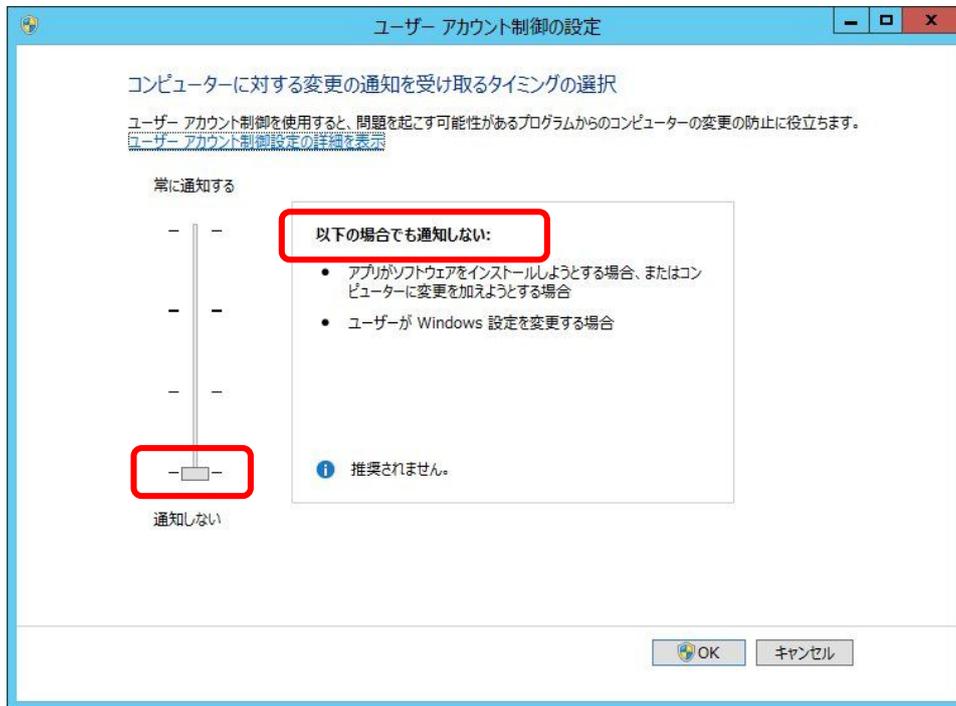
また、Windows ファイアウォールの設定で、E-Post Mail Server シリーズが使用するポートを設定することも忘れないようにしてください。

1. Windows Server 2012 環境に導入するための事前操作 [UAC の無効化]

- (1) コントロールパネル → ユーザーアカウント → ユーザーアカウント → ユーザーアカウント制御設定の変更 を開きます。



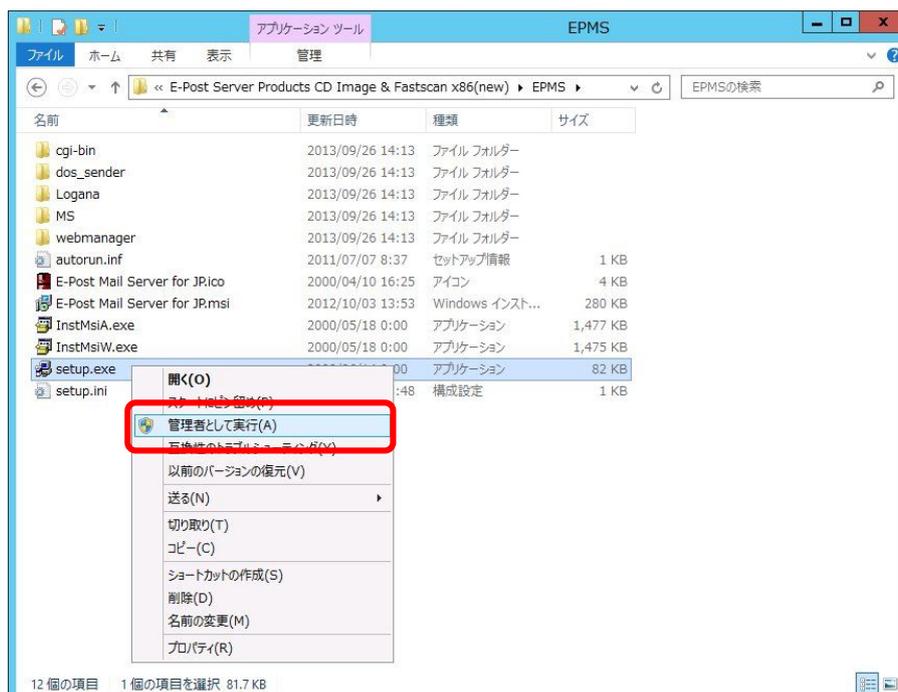
(2) [ユーザーアカウント制御設定の変更] でいちばん下の「以下の場合でも通知しない」にスライダーを下げます。



(3) [OK] ボタンをクリックした後、ウィンドウを閉じ、再起動します。

2. Administrator 権限の別名アカウントでインストール・実行するとき

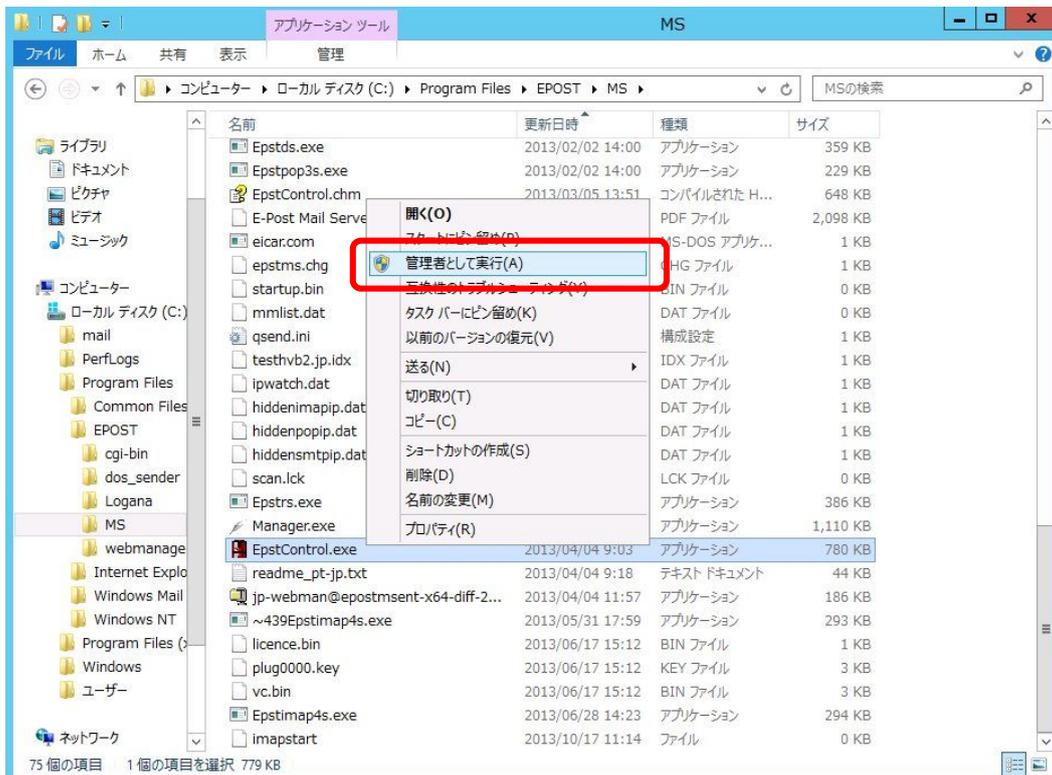
(a). Administrator 権限の別名アカウントでインストールする際、.msi ファイルや setup.exe を実行するときに右クリックメニューから、「管理者として実行」を選択して実行します。



(b). Administrator 権限の別名アカウントでインストールしたときは、Mail Control を開く際、Mail Server アイコンをダブルクリックして実行せず、右クリックメニューから「管理者として実行」を選択します。



(c). Administrator でインストールし、Administrator 権限の別名アカウントで登録・運用するときに、スタートメニューやデスクトップ上のアイコンが登録されないときには、インストールフォルダ内の"EpstControl.exe"を選択、右クリックメニューから「管理者として実行」を選択します。

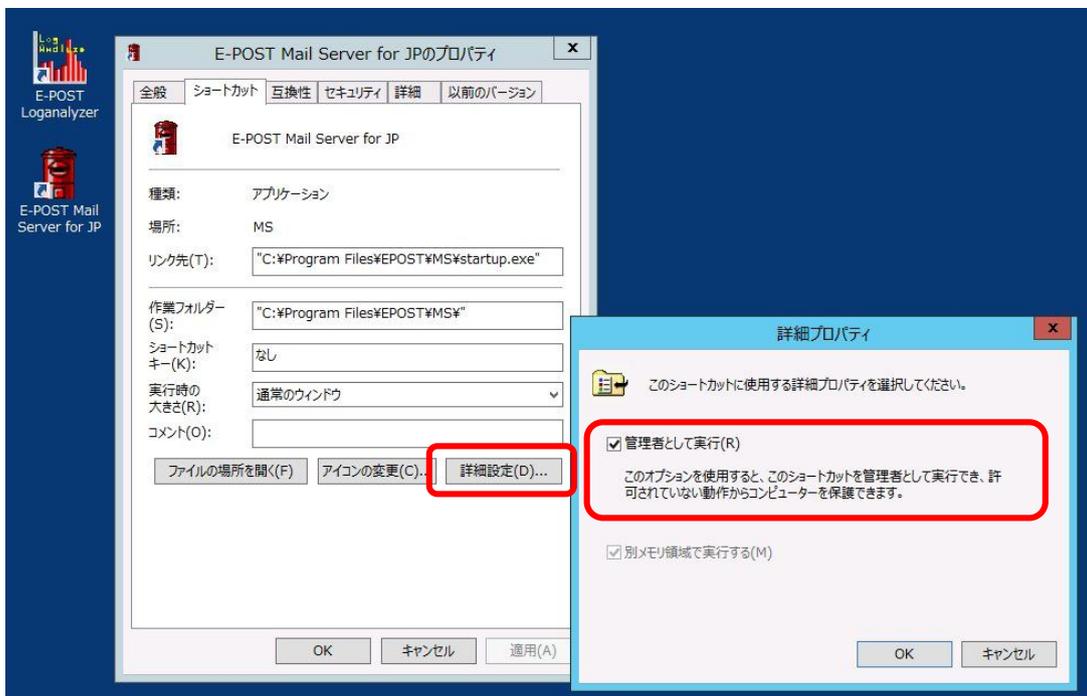


既定のインストールフォルダは次の通り。

- ・ 32bit 版 E-Post シリーズを 32bitOS に… ”C:\Program Files\EPOST\M\$”
- ・ 32bit 版 E-Post シリーズを 64bitOS に… ”C:\Program Files (x86)\EPOST\M\$”
- ・ 64bit 版 E-Post シリーズを 64bitOS に… ”C:\Program Files\EPOST\M\$”

(d). 前述の(b)について、ショートカットアイコンのプロパティを常に「管理者として実行」する指定としておくには、次の操作を行います。

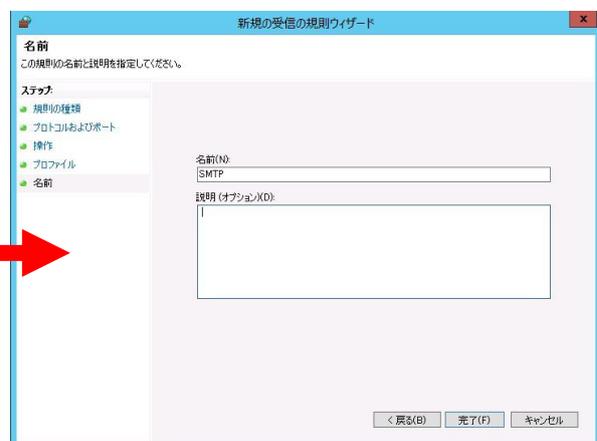
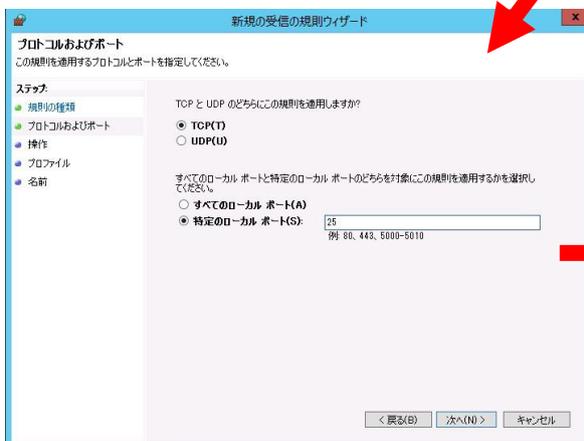
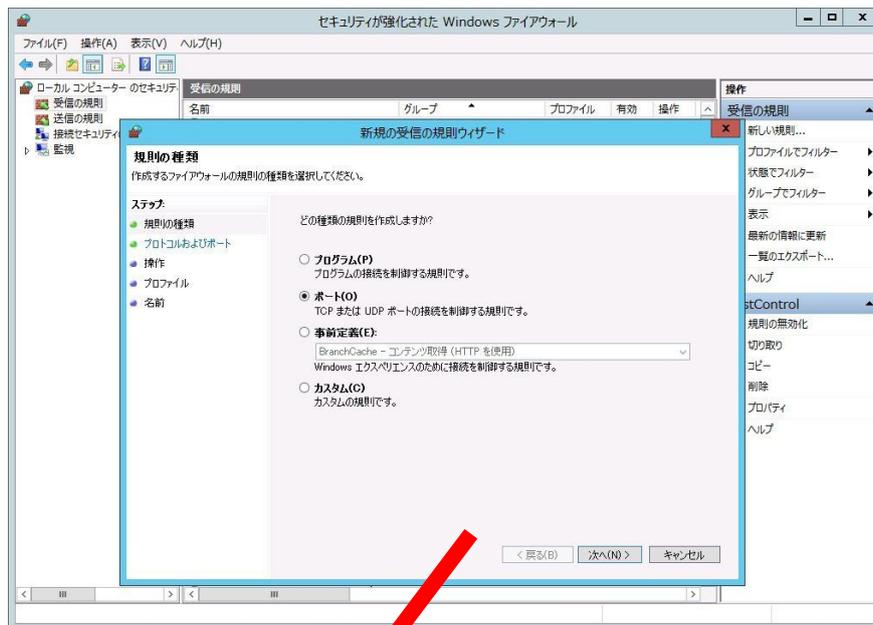
「E-Post Mail Server」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」を選択。表示されるダイアログボックスの「ショートカット」タブを選択し、「詳細設定」ボタンをクリック。「詳細プロパティ」ダイアログボックスの「管理者として実行」チェックボックスをオンにし、「OK」ボタンをクリック。プロパティのダイアログボックスも「OK」ボタンクリックで閉じる。



3. セキュリティが強化された Windows ファイアウォールの設定

セキュリティが強化された Windows ファイアウォールの設定でポートの使用許可を設定します。Administrator アカウントでログインし、セキュリティが強化された Windows ファイアウォールの設定を開きます。

[操作] - [新しい規則] を選択し、必要に応じて、SMTP (ポート番号 : 25) ・ Submission (同 : 587) ・ POP3 (同 : 110) ・ IMAP4 (同 : 143) 各プロトコルが利用するローカルポートのポート番号について、受信・送信ともに通信許可をそれぞれ追加します。



ポート番号 (プロトコル一般名称)

- 25 (SMTP)
- 587 (Submission)
- 110 (POP3)
- 143 (IMAP4)
- 465 (SMTP over SSL) ※SSL 使用時のみ
- 995 (POP3 over SSL) ※SSL 使用時のみ
- 993 (IMAP4 over SSL) ※SSL 使用時のみ

